

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人東松山市学童保育の会 児童デイサービスほほえみクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の就労支援に特化しており、同じ地域で他事業所にはない8時間を超える保育時間を提供している。そのため、共働きのご家庭でも放課後等デイサービスを利用しながら仕事を続けることができる。また、人員配置も国の基準の倍の人員を配置しており、利用者本人だけでなく、家族を含めた保育中の安全や安心感につながっている	送迎(自宅へ)を行わない代わりに保育時間を長く確保しています。開所時間は希望がある場合は7時30分から児童の受け入れを行っています。また、就労だけでなくご家族のレスパイトなどに利用してもらえるように積極的に案内をしています。	必要に応じて個別に送迎サービスの実施(自宅へ)の検討を行う。また、職員の配置については国の基準を大幅に上回っている。専門性の向上について、障害特性の理解以前に、虐待防止と権利擁護のために、権利主体としての児童の視点に立てるよう実践を振り返るなどの取り組みを行っていく。
2	手作りのおやつや昼食の提供	普段の放課後には手作りのおやつを提供しています。また、1日保育の日には手作りの昼食を提供しています。(土曜日を除く)おやつや昼食を通じて食に対する興味や関心が向上するように支援を行っています。	支援プログラムとして「おやつ作り」に取り組んでいます。簡単な調理を含む工程に挑戦することでより食に関する興味や関心を高められるように取り組んでいます。
3	集団活動の機会を設け、他者との共同生活におけるルールやマナーなどを学ぶことが出来る	放課後には集団活動の時間として「リトミック」に取り組んでいます。ダンスの他に体を動かす運動などを行い、他者と一緒に活動をする練習など行っています。また、お出かけの機会を通じて社会のルールやマナーなどを学び、生活している地域以外の施設などに行き、社会参加の経験の場を提供しています。	集団活動の他に個別にそういった機会を提供することで、一人ひとりにもっと寄り添った支援として実施出来ないか検討しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないことで、送迎を希望する方の場合には当法人の利用について、選択肢から外れてしまう。送迎について個別に対応することが出来れば強みに変わると考えられる。	就労支援に重点を置いており、保育時間を優先しているため、ご利用者本人・ご家族への聞き取りを含め、営業時間の見直しを行うなどいくつかの課題を解決した上で、送迎サービスの実施するかを考慮しなければならない。	それぞれのニーズに合わせた事業形態が展開できると良いが、1つの事業所で両方のニーズに応えるにはより多くの人員の確保が必要となる。
2	老化による耐震性など安全面に関する不安	賃貸施設のため、建物の耐震工事やリフォームなどについては貸主の意向・許可の確認が必要となる。	貸主からは移転を求められた経緯もあるため、可能であれば移転などを含めた検討を行っていく必要がある。
3	施設内の段差や設備などのバリアフリーに関する課題	賃貸施設のため、建物の耐震工事やリフォームなどについては貸主の意向・許可の確認が必要となる。	貸主からは移転を求められた経緯もあるため、可能であれば移転などを含めた検討を行っていく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人東松山市学童保育の会 児童デイサービスほほえみクラブ

公表日 2025年3月28日

利用児童数 2025年2月1日 15名

回収数 9世帯分

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9				・保育する方は大変だと思いますが、自然豊かでのんびりしていて良いと思います。 ・職員が管理する負担が多いほど広すぎるので早期移転を希望したいです。	指導訓練室は定員10人の指定のための基準を十分に満たしています。今後も伸び伸びと過ごせる環境作りを心がけます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	1	3	・募集にもう少し力を入れていただきたい。	職員配置数は基準を超えて配置できていますが、安心して利用していただくために引き続き努力していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	2	1	1	・テラスから室内に入る時の段差が大きいなど感じています。肢体不自由の児童が入所したら大変だろうなと思います。	施設のリフォームについては、賃貸事業者の意向もあるため、相談・調整の上、法人の課題とします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		引き続き今の環境を維持できるよう努めます。
適 切	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1				引き続き専門性について法人内で研修の機会を増やすなど、全職員に学習の機会を設けてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					今後も職員一人ひとりが支援プログラムを理解し、適切な支援内容となるように努めます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1				引き続きご利用者本人と保護者さまの必要とする支援や課題の理解に努め、計画を立案できるように努めます。

かな
支
援
の
提
供

8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					引き続きガイドラインに示された支援内容からご利用者本人が必要とする支援の設定や具体的な支援内容となるように努めてまいります。
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1				引き続き計画に沿った支援が出来るように努めてまいります。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	2	1			児童の特性や状態、発達状況に応じてプログラムのアレンジや工夫に努めます。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1		1		運営法人の学童保育とドッジボール大会や運動会、合同行事にて交流を行っています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					引き続き、利用開始時に丁寧な説明に努めます。
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1				引き続き、支援内容の丁寧な説明に努めます。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	1		関連機関からの案内の掲示など保護者が参加できる研修会などの案内も行っています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					引き続き、児童の様子を保護者と伝えあうよう努めます。保護者はもちろん職員間での共有にも努めます。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1		1		適宜個別での対応を行っております。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				・いつもあたたかい言葉をかけていただき感謝しています。	引き続きご利用者本人と保護者さまの必要とする支援や課題の理解に努めてまいります。

保
護
者
へ

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9					いつもご協力ありがとうございます。引き続き、保護者会活動の保育や活動の支援に努めます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				・子どもが休学後の復帰に向けてのならば登校時には、変則的な時間帯でも支援をしていただき大変助かりました。	法人として、出来る範囲内での支援ではありますが、引き続き皆さまのお力に少しでもなれるように努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			1	・広報紙は多すぎると思います。もう少し頻度を減らすべきだと思います。	引き続き、おたよりを発行し情報発信していきます。内容・頻度については適宜見直しを図ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					引き続き個人情報の取り扱いには十分に留意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2		保護者会等で有事の際の対応についてや避難先、緊急の連絡方法についての周知を行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			3		児童・職員で避難訓練・通報訓練（火災・地震）を年2回実施しています。また、てんかん発作時の対応やAEDの使用など含めた訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1			・施設の老朽化の問題は心配です。	安全計画について保護者会などで周知する機会を設けてまいります。また、老朽化等の問題についても法人の課題として取り組んでいきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1		引き続き迅速・丁寧な連絡が出来るよう努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					引き続き安心感をもって通所してもらえるように努めてまいります。

満足度	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	9					クラブでの生活を楽んでもらえるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				・フルタイムで勤務している家庭が必要としている支援を提供できるのは、現状ほほえみクラブだけだと思います。	引き続き事業所の利用に満足していただけるように努力いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 NPO法人東松山市学童保育の会 児童デイサービスほほえみクラブ

公表日 2025年 3月 28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		指導訓練室は定員10人の指定のためのスペースは十分に確保されている。そのほか同規模のデイルーム（大部屋）や広い園庭も備わっています。	各部屋や園庭が広いが、基準より多くの職員の配置が必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	職員配置数は基準を超えて配置できています。	配置基準は満たしているが、広い施設のため、出来るだけ早く職員の増員が必要。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4		室内への出入り口の段差の解消などは改善の余地があり、今後の課題とする。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	始業前に室内やトイレの清掃を行っている。また、室内の消毒・殺菌を行って感染症の予防にも力を入れている。	建物の老朽化などによる古さは否めない。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	静養室の他、パーティションで区切った空間を使用できるようにしている。	
6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	ミーティング等で個別支援計画に基づいた目標や振り返りを行っている。	支援計画の「目標設定」を定期的に確認できるよう、職員会議にて共有します。	

業務改善

7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員へ評価の結果を伝達し、保護者の意向などを共有できるようにしている。	ミーティング等へ出席できない職員への共有方法について検討していく。
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティング等で発言の機会を設け、その意見についての検討を職員で行っている。	ミーティング等で発言しにくい内容などについては個別で意見を聞いているが、匿名でも意見が言えるような方法も検討したい。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		第三者委員を委嘱している。必要に応じて第三者評価を行い業務改善につなげたい。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修の受講案内の他、法人内での研修や学習会を実施している。	職員が参加しやすい実施方法や研修の機会を設けていきたい。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		担当者会議や日々の伝達等で何っている保護者のニーズを支援計画に反映できるよう努めている。	引き続き日々の伝え合いや担当者会議等での児童・保護者のニーズや課題の集約、分析に努めていきます。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員全員で計画案についての検討を行い、計画の見直しや修正を行っている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		職員全員で計画を把握し、業務（支援）にあたるように打ち合わせを行っている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		発達検査等の結果だけでなく、保護者との面談や意向、日々の記録の他行動分析（ABA）などを活用している。	フォーマルなアセスメントについては医療機関等での検査が必要なため、保護者の負担にならないように配慮する必要がある。

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			ガイドラインに基づいた支援内容となっているかを適宜振り返りを行い、必要があれば見直しを行っていきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	立案から準備・実施まで全職員で取り組み、各職員で分担して行っている。	積極的に参加できていない職員の参加の仕方などについて検討が必要である。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	4		個々の児童の特性を考えながら、プログラムのアレンジ・変更を検討していきたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		本事業所としては、保護者のお迎えによる帰宅に対応するため、支援後の打ち合わせや振り返りは翌日に行っている。	当日のうちに振り返りや気付いた点などを共有するための方法を工夫をしたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			個別支援計画のリプランとは別に、モニタリングの頻度を高くするなど検討していく。

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	1		活動プログラムについて子どもの発達や状態に応じて適宜更新できるよう努める。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		基本的に学校から日課や下校時間などの情報提供はないため、保護者より学校の情報を提供してもらっている。お子さんの状態については適宜学校より情報を共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	未就学児童の次年度からの入所希望がある場合には、利用保育所などへ訪問を行って情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	サービス担当者会議が行われる場合に、移行支援会議にて卒後の事業所への情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	県の療育等支援事業を活用し、ハロークリニックの専門職より個別の児童についての助言相談を得る機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	運営法人の学童保育とドッジボール大会や運動会、合同行事にて交流を行った。	同じ運営法人以外での交流については今後の検討課題とする。

33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	法人として東松山市自立支援協議会より委員を委嘱されている必要に応じて職員へ協議会の内容を周知したい。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		お迎え時に日々の様子を伝えるだけでなく、家庭での様子や困りごとなどの様々な話を通じて保護者との共有を図っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		保護者に対してペアレントトレーニングの支援が行えるよう、職員間でも学習を進めていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		引き続き、利用開始時に丁寧な説明に努めます。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			引き続きご利用者本人とご家族の意向をしっかりと確認できるように努めます。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		悩みや相談を伝えていただけるようなコミュニケーション、雰囲気作りに努めている。また、必要に応じて他機関との連携を図っている。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7			引き続き、保護者会運営・活動の支援に努めます。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		児童の意見表明や保護者からの意見が伝えられやすいコミュニケーションや雰囲気作りに努めています。	

保護者への説明等

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		引き続きおたより等で情報を発信していきます。	おたよりの内容についての見直しや工夫に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			引き続き、個人情報の保護に努めてまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		イラストや図案などを活用したコミュニケーションの他、筆談など様々なツールを用いてコミュニケーションを図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	ゴミ集積所の清掃などの協力を行っている。また、ハロウィンでの活動等、近隣住民の理解・交流を図っています。	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		避難訓練の他、災害以外の事故・事件を想定した訓練を行い、必要があればマニュアルの見直しを行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回、避難訓練（火災・地震）を実施しています。職員向けの訓練では通報訓練の他、消火訓練・を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		てんかん発作のあるお子さんについては体調を記録し、発作時には発作時の対応等を詳細に記録しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	学校給食での除去食に準じ、担当者会議での保護者と関係機関での共有に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	避難訓練の他、送迎中における安全管理などに関する事前の学習会を実施するなどを行っています。	

対応

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ミーティング等で報告や情報の共有を行っています。	報告の方法や情報の共有方法については今後の課題とします。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会や身体拘束適正化委員会の活動報告や法人内の事例の検討を行っています。また、研修動画の視聴など研修機会を確保しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	必要がある場合には、事業所としての十分な検討と保護者、児童の理解を得た上で行う。今年度は身体拘束が想定される児童、支援計画はなかった。	